



Title	日本語講座年報 2022-2023 卒業論文題目リスト
Author(s)	
Citation	日本語講座年報. 2024, 2022-2023, p. 73
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/95481
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2022年度(令和四年度)卒業論文題目リスト

2023年3月に外国語学部日本語専攻を卒業した学生39名の卒業論文題目です。

外国語学部日本語専攻では、日本語学、言語学、日本文化学、日本語教育学の分野で卒業論文を書くことができます。

卒業論文題目

- ・日本の青森ねぶた祭りと韓国の燃灯会 ―提灯を使った祭りの歴史・構成要素の比較を中心に―
- ・日本のアニメにおける百合文化について ―百合文化と社会との関連性を考える―
- ・『細雪』の章立てと登場人物の性質について
- ・学習者は日本語教室Eに何を求めているのか ―高度外国人材に対するインタビューから―
- ・日本語会話における繰り返しと話者間の関係 ―親疎関係に注目して―
- ・機能的等価から見た日本語オノマトペの中国語翻訳 ―『容疑者Xの献身』の中国語訳を例に―
- ・一人称主語代名詞が明示される場面について
- ・日本語とモンゴル語における依頼行動の比較
- ・外国語学習時の電子辞書及び自動翻訳の有用性に関する研究
- ・伏線回収から見る「漫才」と「コント」のネタの複雑化について
- ・共鳴音・阻害音で構成された無意味語から連想される色相の分布調査とその傾向分析
- ・技能実習生の日本語学習と地域コミュニティ参加との関係 ―A市在住のインドネシア人技能実習生への実態調査をもとに―
- ・現代文学作品における父母に関する家族呼称の使用について ―『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の文学作品を用いて―
- ・漫才のスタイルによるボケとツッコミの働きの違い
- ・ロシア語音声と感情認知
- ・近代日本における髭に対する考え方の変遷
- ・日中両国におけるカレーの受容性の相違について
- ・日本語支援者が行うスキャフォールディングは何を基に組み立てられているか ―実施者自身による会話分析―
- ・北海道方言における結果状態を表す「ラサル」の使用条件
- ・尾張方言における文末形式コトナイについて
- ・よさこい系祭りのオンライン化に関する考察 ～テレどまつりに関するインタビュー調査の分析を通して～
- ・民俗学視点から映画「紅夢」を捉える
- ・インドネシア語を母語とする日本語学習者の日本語の受身文の分析 ―持ち主の受身に注目して―
- ・日本語教育政策に含まれる無意識の差別
―「日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針」における批判的談話分析―
- ・日本語母語話者による韓国語オノマトペの知覚に関する研究 ―音象徴的観点から―
- ・量副詞「いっぱい」「たくさん」の使用状況 ―現代書き言葉均衡コーパスの分析から―
- ・「原因」の発音の変化
- ・主張的セルフ・ハンディキャッピングの言語学的考察
- ・能面は無表情なのか？ ～「能面女子の花子さん」の漫画研究から探る～
- ・オタク文化の変遷
- ・新作能の可能性を考える ―能『白雪姫』を題材に―
- ・中国語を母語とする日本語学習者のフィラーの分析 ―日本語レベルによる比較―
- ・「雪女」像の変化 ―歳時記の描写から―
- ・中国語母語話者と日本語母語話者の音象徴のずれについて ―人名から喚起される個性に着目して―
- ・心的操作を示す談話標識「待って」
- ・『源氏物語』から見る平安時代の婚姻文化 ～婿取婚における父の役割～
- ・日中補助授受動詞の対照分析 ―「テモラウ」と中国語兼語文の対比を元に―
- ・太宰治後期:解放的批評
- ・現代妖怪コンテンツの進化 ―妖怪アニメーションに着目して―